

広報

# しいば

2007  
JUNE  
No.644



平成19年5月13日撮影

山々に響く尾向小学校の校歌（緑の少年団）  
国定公園「扇山」山頂・1,661m

6



あぶないぞ 地鳴り落石 にごり水

# 山地災害に備えよう！

まもなく梅雨・台風シーズンを迎えるようとしています。近年、本村をはじめ全国各地で大雨による山地崩壊、土石流、地滑り等の甚大な被害が多発。これらの対策として、林野庁や宮崎県と一体となったキャンペーンを実施し、山地災害防止に対する理解と関心を多くの方に広めながら、危機管理体制の強化や防災活動の充実を図ります。

## 山地災害

### キャンペーンの実施

今年5月20日から6月30日までの実施期間中、治山事業の一環として「あぶないぞ 地鳴り落石 にごり水」という標語のもとに、山地災害防止につながる広報活動や防災施設の安全確認を行います。また、各地区から依頼のあった危険箇所についても、消防や警察、行政が一同に調査点検を行う「災害危険箇所調査」を実施。その結果に対し、関係機関が共通認識のもとで効果的な対策を検討します。

## 自分自身で

### 命を守る「避難」

山地災害から大切な命を守るための最も効果的な方法は、危険を感じたらすぐ「避難」することです。ぜひこの機会に、住んでいる地域の危険箇所と避難所の位置を確認するなど、緊急事に備えた予備知識を深めてください。

また、大雨や台風接近の際にはテレビやラジオ、オフトーク通信からの情報を得るとともに警察や消防団の指示に従って、早めの避難と迅速な行動を心掛けましょう。

### 問い合わせ先

椎葉村役場

建設課（道路・山地災害等）  
総務課（消防・避難所等）

☎671-3207  
☎671-3201

平成17年9月の台風災害（野地・竹の八重地区）



昭和28年撮影(宮崎県警察職員互助会 機関誌「日向」より)  
 ※写真及び資料提供  
 宮崎県警察本部 教養課 及び 日向警察署 椎葉駐在所

# 115年の 歴史を刻む

## 日向警察署 椎葉駐在所

### 椎葉の歴史と共に

明治25年4月、桑弓野巡査駐在所として開所されました。当時は鞍岡警察署に所属。昭和7年にこの上椎葉に新築移転し、昭和9年に細島警察署(現日向警察署)の管轄となりました。また、上椎葉ダム建設工事が盛んになった昭和26年から、一時警部派出所となるなど、115年の歴史と伝統を有しています。

安全で 安心して暮らせる 椎葉のために

## 椎葉駐在所が移転新築

旧椎葉駐在所は、昭和51年に建てられ、30年の耐用年数をすでに超えていました。平成16年からの相次ぐ台風襲来時には、先遣隊として警察官数人が派遣されてきましたが、施設が手狭で、かつ設備も不十分なため、警察活動拠点としての機能を十分に果たすことが出来ませんでした。

今回、村立病院付近のバイパス沿いに移転新築された椎葉駐在所は、新たに多目的室も設置され、災害時の拠点としても、使用できるようになりました。また、台風襲来時などに日向署から応援で派遣される署員の待機スペースも確保。これまで常駐する所長以外は村営住宅を借りていましたが、住居スペースも2世帯分となり、常時警戒にあたることができるようになりました。

今後も昼夜を問わず、安全センターとしての機能を発揮して、地域の安全確保に努めていただくこととなります。

よろしくお願いいたします。



▲4月25日、開所式での記念撮影。志田九州男日向警察署長や地元住民ら、18人が参加しました。

▲桑畑俊彦所長(右)と榎木理朗巡査(左)。村民の生活を守るため、昼夜を問わず勤務されています。



# 銘水の郷 釣り大会

# 川へ

5月4日、村立病院下の河川敷で「銘水の郷釣り大会」が行われました。

この大会は、銘水の郷づくり推進協議会（古川三鶴亀会長）が主催するゴールデンウィークの恒例行事。

2日前からマス370kg・ヤマメ200kgを放流し、平寿園下からの600mの範囲に、餌釣りとルアー釣りの区間を決めて実施しました。

村内外から集まった約400人の参加者は、あいにく曇り空から雨が降り出す天気の中、びしょ濡れになりながらも大物を狙っていました。

たくさんの釣り糸が垂れる中、一人でクーラーボックスいっぱい釣り上げた人もいれば、一匹も釣れずがっかりする人も。

そんな中、大人の部で優勝したのは33・2cm（310g）のヤマメを釣り上げた田中和典さん（えびの市）。子どもの部は30・6cm（289g）のマスを釣り上げた椎葉駿輔くん（横野）。

村の青年団が設置したこいのぼりを見上げながら、たくさんの人でにぎわいました。

子どもの部で大物を釣り上げ優勝。賞品の釣り竿をもらって大喜び。



口の奥まで入った針が、なかなか外れてくれません。



兄弟で交互に魚釣り。待ってる時間はつまらない・・・





遠くに見える「木浦の幻の滝」を探す二人。



最年少の登山者は10ヶ月。お父さんお疲れ様でした。



太鼓の音が山々に響き渡りました。

# 山へ

5月13日、尾八重地区の松木登山口で、扇山（1,661m）の山開きが行われました。天然シヤクナゲの群生地として知られ、山小屋も整備されるほどの人気の山。

白岩側からの縦走者を含め、県内外から約250人の登山愛好家や家族づれが参加しました。

式典では、安全を祈願する神事や尾向小みどりの少年団による山の誓いが宣誓された後、鹿野遊の太鼓チーム「古郷太鼓 扇一座」が演奏を披露。その後、村長ら3人によるテープカットを合図に、参加者は自分にあつたペースで登山を開始しました。

山頂では、登山者最年少の内海由歩くん（10ヶ月・本郷）と最年長の岡田保司さん（73歳・山都町）に記念品が手渡され、参加者全員にも登山記念のワッペンが贈られました。

あいにく今年にはシヤクナゲの花を楽しむことは出来ませんでした。天候に恵まれますがすがしい一日となりました。

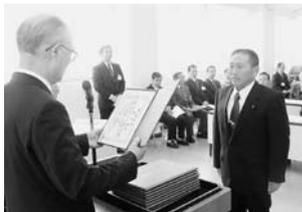
## 国定公園「扇山」山開き



# 椎葉村議会 議員選挙

第16回統一地方選挙・椎葉村議会議員選挙が4月17日に告示され、現職11・元職1・新人3の15人が立候補しました。

## ▼当選証書付与式(4月23日)



定数削減で前回より議席数が4つ少ない10議席となった今回の選挙。5日間の選挙戦が繰り広げられ、22日に村内11ヶ所の投票所で一斉に投票が行われました。投票は一部を除き午後6時に終了。午後7時30分より開発センターで開票が行われ、午後8時55分に確定が出されました。

## 投票結果

当日有権者数 2,997人  
投票者数 2,777人  
投票率 92・66%

※議長・副議長及び委員会構成については、5月1日に開かれた臨時議会で決定されました。

### 議長



河川 吉弘①  
(59歳)  
(小河内)  
総務文教常任委員



松岡 政光⑥  
(67歳)  
(上椎葉中2)  
総務文教常任委員



那須 清②  
(54歳)  
(十根川)  
総務文教常任副委員長



椎葉 信紘③  
(61歳)  
(上椎葉下3)  
総務文教常任委員長



甲斐 美義⑥  
(67歳)  
(上椎葉下3)  
総務文教常任委員

### 副議長



松岡 憲三郎③  
(62歳)  
(岩屋戸中)  
産業福祉常任委員



椎葉 大和②  
(58歳)  
(水無)  
産業福祉常任委員



椎葉 邦博②  
(56歳)  
(不土野中)  
産業福祉常任副委員長



椎葉 芳一②  
(58歳)  
(向山日当中)  
産業福祉常任委員長



右田 重人④  
(66歳)  
(本郷)  
産業福祉常任委員

※名前右の○数字は当選回数

# 椎葉村議会の新しい顔ぶれ

## 議長就任の

# あいさつ

椎葉村議会

議長 甲斐 美義

統一地方選挙後の議会改選の初議会におきまして、議会構成が無事なされ、不詳私が議員各位の選任により、議長の大役をおおせつかりました。この上ない光栄に存じますと共に、その重責を痛感しているところでもあります。浅学非才・微力ではありますが、9人の議員諸氏と共に住みよい村づくりに研鑽を重ねてまいり所存であります。

我が村は、自立・自走の道を選択し、行政も村長を中心に村民の理解と協力のもと独自の工夫を加え、行政改革に取り組んでおります。また、本村の基本理念とする協働、共生の互助組織「いのち輝く森林文明郷かてりの里椎葉」を目指している現況、私共議会も14人から10人と大変厳しい議会構成になりましたが、心一つにして、村民の負託に応えていかなければならないと確認しあつたところであります。

今後とも村民の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

## 介護相談員が 変わりました!

介護相談員に5月25日付けで、河

野美津代さん(岩屋戸下)と椎葉幸子  
さん(向山日当中)が委嘱されました。

「介護相談員」は、村内に点在する  
独居老人や高齢者世帯が住み慣れた  
土地でどのように老後を過ごさしめ  
らしているか、利用されている介護  
保険事業は適正かどうかなど、訪問  
調査を実施しています。また、施  
設を訪問して利用状況の調査を行  
い、相談を受けるなど、その適性を  
チェックする役割も担っています。



▼河野美津代さん(左)  
椎葉幸子さん(右)

これからこの二人が、椎葉村にお  
ける高齢者の介  
護保険事業の推  
進とよき相談相  
手として、施設  
や家庭を訪問い  
たします。よろ  
しくお願いいた  
します。

なお、平成12年度の事業発足当時  
より介護相談員として活動されてい  
る鹿瀬アヤ子さん(春岩尾)と前田  
恵美子さん(夜狩内)のお二人には、  
これまで介護保険事業の公正な運営  
のためにご尽力いただき、心より感  
謝申し上げます。今後も、新しい介  
護相談員の良き先輩としてご指導い  
ただきますようお願いいたします。

## 荒竹トシ子看護師長 厚生労働大臣賞 受賞!

5月16日、名古屋市長総合体育館(愛  
知県)で(社)日本看護協会創立60  
周年記念式典が行われました。

この式典において、椎葉村国民健  
康保険病院の荒竹トシ子看護師長が、  
救急医療功労者の優良看護職員とし  
て、厚生労働大臣表彰を受けました。

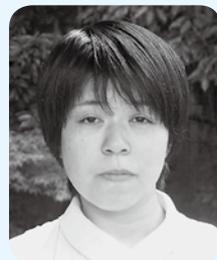
この表彰は、多年にわたり地域の  
救急医療の確保や推進に貢献した団  
体及び個人に対し贈られるもので  
す。また、その功績をたたえ、関係  
者の意識の高揚を図り、救急医療対  
策の一層の充実強化に資する事を目  
的としています。

今回、荒竹師長の永年にわたる看  
護師としての献身的な態度が認めら  
れ、宮崎県より推薦され、受賞の運  
びとなりました。



▲昨年の宮崎県知事表彰に  
次いでこの受賞となりました。

## 村立病院の 新しい職員を 紹介します。



看護師  
椎葉 里恵子  
(35歳) (佐礼住宅)

●趣味・映画鑑賞

●ひとこと: 昨年佐世保より移住し、  
椎葉の生活にも少しずつ慣れてき  
ました。今後は村民の方々との関  
わりを大切にし、思いやりの心  
を持って、看護を行っていかうと思  
います。よろしくお願ひします。



看護師  
那須 峰子  
(32歳) (久津の元)

●趣味・買い物

●ひとこと: 約15年ぶりに地元へ戻  
り、両親と生活をする事になり  
ました。「新しい生活」というのは  
変ですが、自分では心機一転、す  
がすがしい気持ちです。地元で働  
きながら、両親と仲良く助け合っ  
て過ごしていきたいと思います。

## 葉充 村長の



5月の  
動き

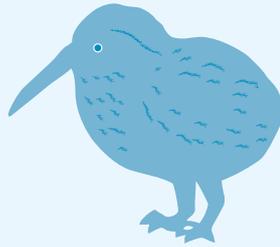
- 1日 臨時議会、庁議
- 2日 発電所関係用務(福岡市)
- 8日 宮崎県信用保証協会監査(宮崎市)
- 9日 県町村会役員会(諸塚村)
- 9日 国土保全、ウッドピア、林業  
活性化センター総会(日向市)
- 10日 区長・区長代理・組合長総会  
(開発センター)
- 13日 県道上椎葉湯前線改良促進協  
議会総会(開発センター)
- 13日 扇山山開き(松木登山口)
- 15日 全国治水砂防協会評議員会  
(東京都)
- 16日 知事と市町村長との自治懇談  
会(宮崎市)
- 17日 治山林道協会役員会(宮崎市)
- 17日 郡町村会定期総会(日向市)
- 18日 日向・東臼杵郡市町村振興協  
議会総会(日向市)
- 21日 緑化推進機構理事会(宮崎市)
- 21日 林業公社総会(宮崎市)
- 22日 道全協総会(東京都)
- 23日 全国源流の郷協議会(東京都)
- 23日 全国発電協総会(東京都)
- 24日 タム所在市町村理事會(東京都)
- 24日 三協会合同常総会(宮崎市)
- 28日 県町村会正副長会(宮崎市)
- 29日 県建設推進機構(宮崎市)  
臨時議会



▲扇山山開きで  
テープカット (13日)



# Kiaora



■椎葉村外国語指導助手

Anna Dwyer

アナ ドウワヤー  
(ニュージーランド出身)

My experience as a J.E.T programme participant in Shiiba-son is nearly over and summer has come. Two years is a very short time and in these two last articles I would like to reflect on my most wonderful and the most challenging experiences of these two years here in Shiiba-Son, Miyazaki-ken, Japan. I hope you have enjoyed reading them. (of course I am kind of short of space and there are so many, each day is an experience of a kind so you have to understand this is a difficult choice of what to write).

I believe for someone that has stayed in Shiiba for more than one year they might agree with this statement; There is a life • inside?the village and a life • outside?in the rest of Miyazaki, in the rest of Japan and for that matter the world. But with all Shiiba • happenings, events etc. sometimes it • difficult to remember the world outside these captivating mountains. For me that • what makes Shiiba-son so unique. I remember a conversation about this with Tokiwa sensei at Heike Matsuri last year (she is a well traveled and old Shiiba Shogakko teacher who loved living in Shiiba very much) and she summed this feeling up, I quote ?Shiiba is kind of like living on an island?

Summer is here and at the Danchi where I live the children play outside again and their lyrical laughter fills the air with a contagiously good feeling. Each is so unique and over the last year and ten months I have had the pleasure of seeing them develop into such bright stars.

Japanese children are very different to children in New Zealand. They are far more attentive and they want to learn everything. They don • fight as much because they have "jankin" to solve almost everything.

夏が来ると、椎葉村での私の任期も終わってしまいます。ここでの2年間というのはあっという間でしたが、これからの最後2回の記事は、この2年の間に日本での、宮崎県の、そして椎葉村で体験した最も素晴らしく、最も印象的な経験について思い出しながら綴っていこうと思います。皆さんも私の記事を楽しんで読んでもらえたらうれしいのですが。(もちろん、この限られたスペースに、日々たくさんの出来事がある中から選び出して書くことが大変だったということをかっってくださいね)

椎葉に1年以上住んだことのある外国人なら、きっと私と同じ意見を持つと信じています。ここでの生活はまさしく椎葉という村の中特有の生活で、宮崎県の他市町村とは別の生活で、日本のあらゆる場所とは別の生活で、世界中の他の場所とも全く違う生活だと思います。しかし椎葉での出来事やイベントなどを経験していると、この魅力的な山々の外側にある世界を忘れそうになることがあります。このことこそが、私にとって椎葉村を魅力的にしているものだと思います。

このことについて去年の平家祭りのときに、常盤先生(彼女はよく旅行もしますが、椎葉小学校に長くいる先生で、椎葉での生活がとても気に入っている人です)と会話したことがあります。彼女は椎葉での生活は島の中でのそれだと言っていました。

夏も近づき、私が住んでいる団地では子どもたちがいつも外で遊んでいます。子どもたちのいかにも楽しそうな笑い顔(声)は団地中に広がり、良い雰囲気でもたしてくれそうです。子どもたちはとてもユニークで、1年と10ヶ月にわたって輝く星のように成長していく彼らを楽しんで見ることができました。

日本人の子どもたちは、ニュージーランドの子どもと比べると全く違います。本当に思いやりがあって、全てのことを学ぼうとする意欲があります。子どもたちは争うことなく、ほとんど全てのことをジャンケンで解決しているようです。

和訳：黒木睦美さん(梶尾出身)

# 椎葉の民話

93



## 「ゴッキーせみの話」

(その二)

語り手 椎葉壮市さん

(白杵又)

昭和13年3月23日生まれ

昔「ゴッキー」を聞かすわい。こげえ言い  
おったわい。

昔、山の奥の方に山師ども②が暮らして  
とって、山小屋で寝泊まりしよったとよ  
なあー。あるとき、親もがトトも力カも  
山へ行って木を切りおったちゅうぞ。家に  
おるおなごの子どもが、谷川で「キ」③をば  
あれえおったりや、水に流げて④「せみ」  
でえいな⑤「キ」じやるからとおもって、後  
をつついて⑥おりよったりや、深い滝つぼ  
があつて、めんめえ⑦も谷の中にはまって  
しもーて死んでしもつたつちゅうわい。  
それでその思いが「ゴッキー」といって言葉が  
亡霊⑧になつて山の奥で夏になれば「ゴ  
ッキー」⑧と鳴くせみがあつたわい。

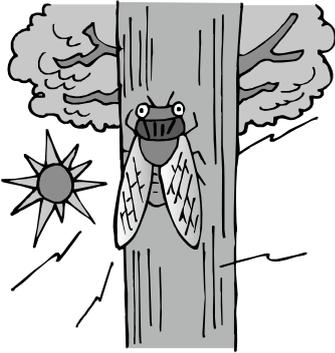
(聞き手 椎葉ユキ)

西南学院大学 林 文香・宮本真子・

森山苑子・大部志保・吉田扶希子

発端句＝昔「ゴッキー」を聞かすわい。こげえ  
言いおったわい。  
結末句＝ちゅうぞ。

- ①昔「ゴッキー」＝昔話
- ②山師ども＝材木伐採をする人たち
- ③「キ」＝御器・木碗
- ④流げて＝流して
- ⑤でえいな＝大事な
- ⑥つついて＝追って
- ⑦めんめえ＝自分
- ⑧亡霊＝霊。死んだ人の魂。



## 「姥捨て山(その二)」

語り手 椎葉トラケサさん

(白杵又)

明治35年10月19日生まれ

昔やあ、姥捨て山ていうてあつちゅうた  
いのつ。それで、昔やあ持つて行きよつた  
ちゅうばい。それがのつ、姥捨て山に行く  
時にや、柴をばつんもつて①行きよつた  
ちゅうたい。そんでわかりよつたちゅうつ、  
姥捨て山ちゅうつから戻りにや、それをし  
るしいで戻つたがいいがナー。

(聞き手 椎葉壮市)

西南学院大学 林 文香・吉田扶希子・

宮本真子・森山苑子・大部志保

①柴をば つんもつて＝木の枝を途  
中から折つて

## 「山芋おやし(その二)」

語り手 椎葉壮市さん

(白杵又)

昭和13年3月22日生まれ

兄弟がおつた。弟は、「兄貴には親たち  
がいいものばかり食わする。俺にはうも  
つもねえ②もの食わせる」と思った(な)。  
ひとつのじよのみ③があつてとて、山芋  
をもろつて来たが、「兄貴はよつばい

ものを食たじやろつ。俺には山芋の首じや  
から、兄貴を殺そつ」と、思つて、殺して  
みたりや、兄貴も同じものを食つとつた  
が。それから、これはいけんちゅうつこと  
で、生き返らせようとして、弟の方が兄貴  
の死骸をちよこへり④ながら、「オトトケ  
サポー「セ」「セ」「セ」それをしたちゅ  
うがな。

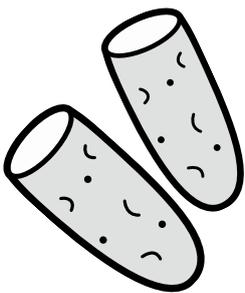
そのオトトケサポー「セ」「セ」「セ」てい  
う鳥⑤がおるちゅうつことを聞いたことが  
ある。

(聞き手 椎葉 ユキ)

西南学院大学 林 文香・吉田扶希子・

宮本真子・森山苑子・大部志保

- ①山芋おやし＝山いも生やし
- ②つもつもねえ＝おいしくな
- ③じよのみ＝ひがみ
- ④ちよこへり＝くすくす
- ⑤オトトケサポー「セ」「セ」「セ」てい  
う鳥＝山芋が出てくる時期に鳴く鳥



掛金：日額310円

★特長

- ◎国の制度なので安全、确实、申し込み手続は簡単です。
- ◎経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◎掛金の一部を国が助成します。
- ◎掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
- ◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。ホームページ「建退共」に、退職金試算・パンフレット請求など、建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧下さい！！

アドレス

<http://www.kentaikyotaisiyokuin.go.jp/>

★詳しいことは、建退共宮崎支部へお問い合わせ下さい。

☎0985-20-8867

FAX0985-20-8889



## 「青年の主張」東臼杵地区作文募集

青年らしい自由でユニークな発想の作文を次のとおり募集しています。

■対象者

15歳（中学校卒業者）以上30歳未満の方

■作文内容

- ①社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案
- ②青少年健全育成活動、地域づくり活動、団体・グループ活動などとの関わりの中での意見や提言
- ③テレビ、新聞などで報道される青少年問題や社会のさまざまな出来事に対する意見や提言

■募集方法

400字詰め原稿用紙3～4枚程

度で、5分以内で発表できる未発表の作文

■募集期限

平成19年7月20日（金）必着

■提出先

椎葉村教育委員会

☎0982-67-2850

■問い合わせ先

東臼杵福祉事務所 青少年指導員

☎0982-32-6122

## 国家公務員採用Ⅲ種（税務）試験受験者募集

人事院九州事務局と熊本国税局では、国家公務員採用Ⅲ種（税務）試験の受験者を募集しています。

国家公務員採用Ⅲ種（税務）試験に合格し採用されますと、全員が税務大学校に入校し、1年間、税務職員として必要な専門知識を修得するための研修を受けることになっています。

その後、税務署に配属され、国税の仕事に従事することになります。

【受験資格】

昭和61年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた方で、学歴は問いません。

【試験の程度】

高校卒業程度

【申込書の受付期間】

6月26日（火）から7月3日（火）まで（通信日付印有効）

【第一次試験】

9月9日（日）

【申込用紙】

人事院九州事務局、熊本国税局又は最寄りの税務署に備えています。

詳しくは、次のところへお問い合わせください。

人事院九州事務局

☎092-431-7733

熊本国税局人事第二課

☎096-354-6171

延岡税務署総務課

☎0982-32-3301

## 国家公務員採用中途採用者選考試験（再チャレンジ試験）日程等

人事院及び各府省では、30歳代の人を対象とした国家公務員中途採用者選考試験（再チャレンジ試験）を実施します。

【受験資格】

昭和42.4.2～昭和53.4.1生まれの者

【受付予定期間】

6月26日（火）～7月3日（火）

【選考過程】

9月9日（日）（第1ステージ）

◎受験案内等の請求方法

返信用封筒（角形2号、120円分の切手貼付、あて先明記）を同封した封筒に、「再チャレンジ試験」と朱書きし、下記問い合わせ先へ送付してください。

◎問い合わせ先

人事院九州事務局第二課試験係  
〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2-11-1

☎092-431-7733

FAX092-475-0565

URL <http://www.jinji.go.jp/>



# お知らせ

## 6月

- 椎葉村ホームページ  
http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp
- 椎葉村メールアドレス  
shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ●5月1日現在

男	1,665人 (+ 18)
女	1,676人 (+ 13)
計	3,341人 (+ 31)
世帯数	1,276戸 (+ 33)

# お知らせ

## 6月の納税について

6月は、村県民税（1期）と国民健康保険税（1期）の納税月です。期限内（7月2日）までに納付していただきますようお願いいたします。

### ■問い合わせ先

役場税務住民課

☎0982-67-3205

## 行政相談の開催について

行政相談が次のとおり行われます。行政に関することならどんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

### ■日時

7月10日（火） 10時～15時  
※毎月第2火曜日

### ■場所

椎葉村高齢者センター

## 平成19年度児童手当現況届について

平成19年度の児童手当現況届を次のとおり受け付けいたします。

この届けは、年1回6月1日現在の児童の療育状況などを調査し、児童手当を引き続き受けるこ

とができるかを確認するためのもので、この手続きを済ませないと6月以降の児童手当は、受給資格があっても差し止められますので、必ず期間内に済ませていただきますよう、お願いいたします。

### ■受付期間

平成19年6月1日（金）～6月29日（金）

※土日は閉庁のため除きます。

### ■受付時間

午前8時30分～午後5時15分

### ■持参するもの

- ①印鑑
- ②健康保険被保険者証などの写し
- ③住所を有した市町村の平成18年分所得証明書（児童手当用）

※ただし、本年1月1日現在に他市町村に住所を有していた方に限ります。

### ■現況届の場所 及び 問い合わせ先

総合保健センター「すこやか館」  
役場福祉保健課 福祉係

☎0982-68-7513

## 「裁判員制度」について

「裁判員制度」という言葉を聞いたことがあると思います。国民の中から無作為に選ばれた裁判員が刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に裁判を行う制度のことです。平成21年5月までに始まるこの制度は、国民の皆さんの協力がなくては成り立ちません。

裁判の仕組みを理解していただくために、裁判所見学、法廷傍聴、模擬裁判実施等については随時受け付けておりますので、ご希望の方はお問い合わせください。

### ■問い合わせ先

宮崎地方裁判所総務課庶務係  
☎0985-23-2263

## 第80回 全国安全週間

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防

止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、本年度80回目を迎えます。

職場の安全を確保し、労働災害の減少を図るためには、経営トップが率先して、職場における安全に対する意識や取組を再度確認し、危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）やその結果に基づくリスク低減措置の実施をはじめ安全管理活動を充実・強化することが重要です。また、そのために事業者、労働者がそれぞれの役割を果たし、組織が一丸となって取り組むことが不可欠です。

このような観点から、平成19年度の全国安全週間は、

### 組織で進めるリスクの低減

#### 今一度確認しよう安全職場

をスローガンとして7月1日から7月7日までの期間実施されます。なお、6月1日から6月30日を準備期間とし、県内すべての事業場で、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動の着実な実行をお願いします。

### ■連絡先

宮崎労働局労働基準部安全衛生課

☎0985-38-8835

FAX0985-38-8830

## 知っていますか？ 建退共制度

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じた掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

**加入できる事業主：**建設業を営む方  
**対象となる労働者：**建設業の現場で働く人

## 椎葉村PTA 連絡協議会総会



▲各小中学校の校長、教頭、PTA役員が集まりました。

5月12日、村開発センターで村PTA総会が行われました。今年の運営目標は「豊かな心をもち、21世紀を生きる子どもたちを育てる活動は、どうかあればよいか」。保護者と教職員とが一体となって、児童・生徒の幸福な成長を図るための活動を推進します。

## 八菜館しいば店 出荷者協議会総会

5月16日、村開発センターで支部総会が行われました。昨年の8月にオープンして初めての総会。販売実績や出荷の状況が報告されました。また、「知っておきたい食品の表示」として、賞味期限に関する説明がなされ、熱心な参加者からの質問が相次ぎました。



▲商品の製造方法や管理の事など、厳しい指導が行われました。

## むらおこしグループ 連絡協議会総会



▲特産品開発で地域を元気に！各グループが自己紹介を行いました。

4月27日、村開発センターで、むらおこしグループの総会が行われました。村内13の加工グループ会員や村関係者ら、約50人が出席。新年度の事業計画が審議されたほか、役員改選で新会長には椎葉恵子さん（尾八重グループひえつき代表）が選任されました。

## 区長・区長代理 組合長定期総会



▲机の上にはたくさんの書類が並べられました。

5月10日、開発センターで平成19年度の定期総会が行われました。同総会には、村内10地区94組合の代表者が出席。村民憲章朗読や辞令交付、意見交換などを行いました。これからの1年間、村民と行政をつなぐ重要なパイプ役としてご苦労いただく事になります。

## 回覧は、良く見て、 早く回しましょう。

5月7日、村長室で回覧板の贈呈がありました。これはNTTドコモ九州から贈られたもので、10日の組合長総会で各組合へ配布。形は二つ折りの丈夫な作りで、裏には名前を記入する欄も。役場などから送られる書類をしっかりと守り、皆さんの元を回ります。



▲贈呈を受けた回覧板。村長が直接受け取りました。

## すこやか出生祝い金 村長室で贈呈式



▲第3子目の誕生で贈呈を受けた椎葉勝利さんと里恵子さん（佐礼住宅）。

5月1日、すこやか出生祝い金の贈呈式が行われました。対象者は、3月までに生まれた赤ちゃんとその保護者7組。椎葉晃充村長より祝い金の証書が手渡されました。今回は6組が1、2子目で10万円。1組が3子目で50万円。5年後に換金することが出来ます。

## 「平家まつり 2007」 ポスター投票

11月9～11日に開催される「椎葉平家まつり」。今年も、ポスターの選定投票が行われました。役場や学校を訪れた一般の方に投票していただき、投票数が一番多かったものがPR用ポスターとして採択されます。早ければ7月上旬にはポスターが完成し、掲示される予定。



▲県内外の制作会社持ち込んだ6枚のポスターが展示されました。

## 死亡事故ゼロめざし 交通安全看板設置



▲役場前にも設置されました。

5月18日、村内6ヶ所に事故件数を知らせる看板が設置されました。春の全国交通安全運動に合わせ、村交通安全協会と日向警察署椎葉駐在所が製作。ドライバーや歩行者に注意を促します。4月に1,200日を突破した死亡事故ゼロの日は、現在も記録を更新中。

## 交通安全に 街頭キャンペーン

5月11日、物産センター「平家本陣」前で、春の全国交通安全運動街頭キャンペーンを実施しました。これは、村交通安全協会が主催したもので、同協会の関係者や交通指導員などが参加。通行中のドライバーにチラシや手作りのマスコットを配り、交通安全を呼びかけました。



▲今回も上椎葉わらび会の作成したマスコットが配られました。

## 小さな読書サークル 「ブックカフェ」

5月11日、定例会。毎月お勧めの本を読んで集まっています。今回のお題は浅田次郎の「地下鉄に乗って」。現在会員数は10名で、会ではお勧めの本の感想や日常の事など、いろんなことが話題になっていました。新規さんも募集中で、現在ブログも公開中。



▲お茶を飲みながら、たくさんの情報交換ができました。

## 青年団が こいのぼりを設置



▲足場が悪く、設置にはかなり苦労しました。

4月29～30日の2日間、椎葉村青年団が村立病院下の河川敷にこいのぼりを揚げました。今回が初めての企画で、事前に村内へ呼びかけたところ、集まった数は145匹。「快くこいのぼりを提供して下さった皆様には厚くお礼を申し上げます。」と中瀬秀樹会長より感謝の言葉。

## 椎葉村漁協が ウナギ・アユの放流！

4月10日、不土野川、尾前川で尾前一好組合長と組合員立ち会いのもと、ウナギ（40kg）の放流を行いました。これは（社）宮崎県シラスウナギ協議会が河川還元放流として寄贈したものを。村漁協は今年度332kgの放流を計画しており、アユ、ヤマメの放流も順次行っていきます。



▲お盆頃には脂ののった美味しいウナギがとれるのではないのでしょうか。

# カメラさんぽ

## 落語の披露で伸びる 表現力と想像力



▲春風亭柳之介さんから指導。実演披露もしていただきました。

5月17日、プロから落語の指導を受ける子どもたち。これは文化庁から支援を受けた事業で、今回ちびっ子落語に取り組む不土野小学校に3名の方を講師として招き、実技指導が行われました。今後2回実施され、2月の学習発表会でその成果が披露されます。



▲会場にはたくさんの子どもたち。笑いとおどろきの連続でした。



▲花束を渡してくれたのは椎葉小学校1年の桑畑麻友子さん。



▲劇団員の皆さん。終了後はみんなからの質問攻めにあいました。

## 間近で見られた舞台の演技 大きく広がれ芸術の心

5月9～10日、村内2ヶ所で行われた演劇公演。村内の児童生徒や一般の方など、2日間で約300人が鑑賞しました。今回公演を行ったのは「劇団風の子九州」で児童青少年演劇が専門の劇団。子どもだけでなく、大人へのメッセージを込めた内容となっていました。



▲演じたのは「3ちゅう very much!」。ステージと観客席とが一体となりました。



森林組合の事務所にできるツバメの巣。10年以上前から毎年このこと。階段にはフンよけの新聞紙。掃除が大変と言いつつも、事務所の皆さんは優しい目で見守ります。

「親鳥が60羽。ヒナが30羽。卵は毎日20個産まれるよ。」と笑顔で答えてくれた勘米良賢一さん。太陽が昇ると小屋から出てきた鳥たちが元気に歩き回っていました。



(5月17日・上椎葉)

[Hirundo rustica]  
スズメ目ツバメ科

ツバメ  
燕



(5月2日・桑の木原)

[Parus varius]  
スズメ目シジュウカラ科

ヤマガラ  
山雀



椎葉正一さん宅の玄関にあるのは直径60センチの赤蜂の巣。できたのは4年前。今年はその中にヤマガラが巣を作りました。さすがに何匹のヒナがいるのかは分かりません。

巣から落ちた3羽のヒナ。井手真弓さんに助けられ無事に巣の中へ。人通りの多い役場横の木にせせとエサを運ぶ親鳥。でも2日後にはいなくなってしまいました。



## 愛鳥週間 5月10日～5月16日



ニワトリ  
鶏

[Gallus gallus domesticus]  
キジ目キジ科

(5月18日・狩底)



カワラヒワ  
河原鶉

[Carduelis sinica]  
スズメ目アトリ科

(5月8日・上椎葉)



## 緑まぶしいこの季節 田植え前の新茶摘み

5月に入り、村内各地で茶摘みが始まりました。旧岩屋戸の甲斐直さんの茶畑でも、家族や親戚が集まった作業が行われ、丁寧に摘み取られた新芽は、それぞれが腰に提げたカゴの中へ。集められた茶葉は、隣村の茶工場へと運ばれて行きました。



▲一芯二葉が基本の摘み方。一番茶が楽しみです。

## 香りさわやか 椎葉の 山茶

焼き畑や山を伐採した後には自生する「椎葉の山茶」。それを大きな釜で煎って仕上げたのが「釜入り茶」。どちらも全国的には珍しいもの。釜入り・手揉みの作業も、最近ではなかなか見る事が出来なくなっていました。新茶の季節。ゆっくり味わいながら、お茶を飲んでみてはいかがでしょうか。

## 離れて暮らす娘から 思いが届く母の日に

5月13日は「母の日」。中瀬キミエさん（上椎葉中2）のお宅には、日向に住む娘さんからカーネーションが届きました。玄関先に咲く花とは対照的に、ほとんどがまだつぼみ。少しずつ咲いていく花のお世話の事を、とてもうれしそうに話してくれました。



▲たくさんの趣味があるようで、いろんな事を教えていただきました。

## 風になびくこいのぼり 笑顔で走るおにごっこ



▲引く張る力は大きい子にも負けないぞ！

5月10日、小崎小学校で「こいのぼり集会」が行われました。児童館の子どもたちも参加してのリレーやレクリエーションにみんな大喜び。おにごっこでは見学に来たお父さんお母さんも参加して、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。  
（小崎モニター委員 黒木有美）

## 椎葉郷土芸能の夕べ 太鼓の音が鳴り響く

5月3～5日、椎葉民俗芸能博物館で「郷土芸能の夕べ」が行われました。旅館の宿泊客などたくさんの方が訪れる中、平家大イチョウ太鼓や民謡、追手納神楽などを披露。会場では梅酒「姫伝説」の振る舞いもあり、コップ片手に熱心に見入る人もいました。



▲山中サナエさん（尾田山中）が民謡を披露しました。

椎葉  
平家まつり  
2007

# 「鶴富姫」に

なりませんか！

## 鶴富姫・観光しいばの

### 募集について

「椎葉平家まつり2007」の  
宣伝を通じ、平家伝説とひえつき  
節の里椎葉のイメージアップを図  
り、本村の観光振興に寄与するた  
めに『鶴富姫・観光しいば』を次  
のとおり募集します。

#### ■主催

椎葉平家まつり実行委員会

椎葉村観光協会

■募集人員 『鶴富姫』1名

『観光しいば』1名

#### ■応募資格

①本村に居住しているか、本村出  
身者で満18歳以上（高校生を除  
く）の未婚女性

②今後1年間の観光イベントに参  
加できる方

#### ■応募方法

履歴書に必要事項を記載の上、  
最近6ヵ月以内に撮影した顔写真  
を貼付し申し込むこと。また、他  
薦も同様に受け付けます。

#### ■申込締切日

平成19年6月30日（土） 持参ま  
たは郵送（当日消印有効）

#### ■選考方法

①第1次選考 書面による選考  
②最終選考 第1次選考終了後該  
当者に連絡

#### ■副賞

『鶴富姫・観光しいば』には、現  
金15万円・トロフィー・コスチュ  
ムなどをプレゼント。また、応募  
者全員に記念品を差し上げます。

#### ■申込・問い合わせ先

〒883-1601  
東臼杵郡椎葉村大字下福良509  
123

椎葉村観光協会事務局

☎0982-67-3139

FAX 0982-67-3144

#### 「椎葉平家まつり2007」

■とき 平成19年11月9日（金）  
（11日）開催

■ところ 上椎葉街道及び周辺



## 戸籍だより（4月分）

出生 おめでとく



原田 恭士郎くん  
（小河内） 健司・のぞみさん

## 死亡

ご冥福をお祈りいたします

那須シノブ様（上椎葉下二）八十二歳  
椎葉ヨシエ様（不土野上）九十四歳  
松岡 サン様（下松尾）百歳

## 香典返し

故人の遺志を尊重し活用させて  
いただきます

故 椎葉ヨシエ様（不土野上）  
故 松岡 サン様（下松尾）



## 7月の主な行事と お知らせ

- 1日 村防災訓練（全地区）
- 2日 地域づくり懇談会（松尾・上椎葉）
- 3日 地域づくり懇談会（鹿野遊・仲塔）
- 4日 胃ガン・子宮ガン・骨密度  
検診（大河内）
- 5日 予防接種（三種混合・病院）  
基本健診（すこやか館）
- 6日 地域づくり懇談会（尾向・不土野）
- 7日 地域づくり懇談会（梅尾・大河内）
- 10日 夏期消防操法大会（椎葉小  
グラウンド）  
肺ガン検診（11日・すこ  
やか館）
- 17日 予防接種（MR・病院）
- 18日 予防接種（二種混合・病院）
- 19日 基本健診（仲塔・鹿野遊）
- 20日 基本健診（梅尾）
- 22日 小中学校1学期終業式
- 23日 参議院議員選挙（※予定）
- 24日 県中学総合体育大会（25日）
- 29日 予防接種（三種混合・病院）
- 30日 郡婦人ミニバレー大会
- 31日 小丸川源流まつり（梅尾地区）  
乳児健診・乳児相談・妊婦  
相談・BCG・ポリオ予防  
接種（すこやか館）

# しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

## 《特選》

恙なきわが家問うて燕来る

那須 正

〔評〕 今年も、燕が巢作りのために飛来した。それを作者は、「那須さん、お元氣ですか」と聞いてくれていると思っている。燕のことがわかる心あたったかい人だ。

日を掬ひ畦塗り均す鋏の音

中瀬 汀

〔評〕 鋏で泥と水を掬うことを、日を掬っていると表現する。畦を塗り均らしていく作業は、丹念に丹念にすすめなければいけない。いっしかテンポよくなる鋏の音。村の人はよく働く。

雨上る青菜の映えて光るかな

黒木八重子

〔評〕 雨が上がったばかりの青菜の一枚一枚が映える。これに風がきて揺れると一齐に光る。これが山ならば山全体が映えて光る。一年でいちばん明るい季節。

## 《入選》

蛸たこの這いし花瓶の取手なり

小丸川河童

野茨の甘き匂いに去り難き

那須 瑞穂

岩山に石楠の花咲き誇る

山本 和枝

若葉風やさしく受けてあるきけり

山茶 之実

新緑のみずみずしさをパワーとす

山茶 之実

神宿る 椎葉の山は緑立つ

小八重知津子

山百合に会いたくて旧道を行く

那須 正

鏝くわひろき帽子かぶりて新茶摘む

椎葉シヅ子

茶摘早乙女とは遠き日のことに

椎葉ツユ子

物干しをあけびかずらに貸しにけり

中瀬 汀

由来 説く 鶴 富屋敷 椎 若葉

黒木八重子

俳句募集 〓なたでも投句できます。毎月10日までに気軽に総務課へ送ってください。(郵送・FAX可)

## 日向東白杵南部

### 圏域情報

#### 美郷町

〓970年の伝統 御田祭〓

御田祭は、平安時代からの伝統をもつ全国でも珍しい田植え祭りです。古来より祭事役・一般参拝者・神人・牛馬が一体となって神田の整地から田植えを行い、参拝者の無病息災と豊作を祈願します。見どころは、牛馬が泥しぶきをあげ勇壮に神田を駆け回る姿です。この泥しぶきを浴びると無病息災が約束されるといわれています。また、かすりの着物に身を包んだ早乙女が整然と田植えをする姿には、農耕文化の華が感じられます。五感をフルに使って、ぜひ皆様にご伝統的な農耕行事に参加して頂きたいと思えます。

#### ■期日

・6月30日(土) 納涼花火大会  
日向田植唄全国大会予選 歌謡祭  
・7月1日(日) 御田祭 日向田植唄全国大会決勝 四半の大会

#### 【問い合わせ先】

美郷町 企画情報課  
☎098216613603



## みんなで作ろう!

### 椎葉の「そんぼう」

「そんぼう」と「広報しいば」では皆さんからの情報をお待ちしております。村内どこへでも取材に行きます。また、記事や写真の提供をお願いする場合もあります。今後の予定

変わった。ペットの紹介・おじいちゃんおばあちゃんの仕事や趣味の紹介 など  
〒8083-1160-1  
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福長1747-20  
椎葉村役場 総務課「広報しいば」係  
電話：(0982) 671-32203  
FAX：(0982) 671-28235

## 今月の表紙 Cover Message

### 「緑の少年団」



緑の少年団は、緑を愛し、緑を守り、育てる心を養うことを目的に活動する少年たちの自主的団体です。昭和35年、国土緑化推進委員が、グリーンソフトの名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけたことから端を発し、現在、全国では4,000を超える少年団が活動しています。椎葉村では平成27年7月19日に尾向小学校で発足しました。現在の団員数は児童25名。これまで「緑の少年団育成会全国表彰」など、いくつもの表彰を受けました。扇山の山開きには毎年参加し、元氣な歌声を響かせています。

## 編集後記

Editor's Comment

先月締め切りに追われ苦労したことを忘れてしまった訳では無いのですが、今月も後半になって同じ思いをする羽目に...

取材した材料がそろわないと、なかなか全体像が浮かんできません。先輩方の苦労が身に染みて分かります。

広報を見た人の「良かったよ」と言う言葉を励みにし、皆さんに喜ばれる紙面作りを目指していききたいと思います。(リキ)

# 大自然へ出かけよう！

キャンプ場紹介 ②

## 矢立高原 キャンプ場



九州脊梁山地の中、熊本県との県境にあります。夏も涼しい高原のキャンプ場です。

市房山を望む広々としたキャンプサイト、すぐそばを流れる小川には、ヤマメなどもいて子どもたちの絶好の遊び場です。

また、近くには九州大学演習林などの自然林を歩くトレッキングコース（大河内癒しの森）もあり、雄大な自然を満喫することができます。

1. 営業期間 5月1日から10月31日まで

2. 利用料

- ・ 入村料 105円 中学生以下無料
- ・ コテージ 1棟 6人用 6,300円から  
10人用もあります。
- ・ 貸しテント 1張り 1,050円から
- ・ 持込テント 1張り 525円
- 中学生以下 420円

3. 申し込み・問合せ

電話 0983-38-1440  
または 0982-67-3203



ツツジ科ツツジ属。椎葉の山も新緑がすでに濃くなり、いよいよ長雨の季節に入ります。そのころ、山中の溪間や日向の岩場に朱色からピンクのツツジが咲き始め、そこだけがぱっと明るくなったように見えます。これがヤマツツジで、九州から北海道南部まで分布する日本固有種です。花は径が4cm程の5弁ロート状で野生種とは思えないほど美しく、他種との交雑などから多くの園芸品種を生みました。樹高1-3mに成長する低木で、葉は互生の半落葉性です。春に芽吹いた大型の春葉は晩秋に落葉し、小型の夏葉で越冬します。ともに褐色の剛毛が両面に生えます。雌雄同株で花後には長さ5-6mmの細長い果実が実り、熟すと裂開して中からたくさんの微小な種子を散布します。花が美しいので時に庭に植えられたりしますが、山中で見る花は格別の美しさで、本村では「岩ツツジ」の方言で親しまれています。

(九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋)



## 未来にはばだけ！



あまか ちゃん  
甲斐明白華 (旧岩屋戸)

平成17年7月4日生まれ  
おとうさん：今朝利さん  
おかあさん：明美さん

ただいま日本語勉強中！ 毎日笑顔でがんばってます。



たつき くん  
長友達輝 (上椎葉中1)

平成17年7月25日生まれ  
おとうさん：秀史さん  
おかあさん：美智さん

椎葉へ来て1年。お友だちも増えました。よく食べて遊んで、心も体も大きな人になってね！

## Face in June

みお さん (18歳・上椎葉下1)

勤務先：JA日向 椎葉支店  
趣味：TVを見ること・読書

この春より、JA日向椎葉支店に勤務しています。職場の皆さんはとても良い方ばかりで、毎日楽しく仕事をしています。

一日でも早く、地域の皆さんに親しまれるような職員になれるよう、頑張りたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。



2007 (H19) 6月号